

## 第4次津山市生涯学習推進計画（案）のパブリックコメント実施結果について

1. 募集期間 平成27年12月28日（月）～平成28年1月27日（水）まで

2. 応募資格

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に事務所又は事業所を有する方及び法人その他の団体
- ・市内の事務所又は事業所に勤務する方
- ・市内の学校に在学する方
- ・意見募集の対象となっている事案に利害関係を有する方

3. 意見募集結果

意見提出者数 （ 2 ） 名      意見総数 （ 16 ） 件

番号	意見の要旨	市の考え方
1	目次前に教育長の「生涯学習」体験や考え、今後の津山市の展望等を掲載してはどうか。	ご指摘の内容については、市長あいさつとして掲載します。
2	「社会教育施設」は本計画の性格および五次総との整合性も図り「生涯学習施設」と表記してはどうか。	津山市第5次総合計画の生涯学習施設とは、広く市民が生涯学習を進める施設という意味であり、第4次計画での「社会教育施設」とは、公民館や図書館、博物館など主に教育委員会所管の施設です。「社会教育施設」は、文部科学省も使用していることから、別々の表記でも問題はないと考えております。
3	生涯学習と社会教育は別の概念のため、差別化を図る表現（図等）で明確化してはどうか。	生涯学習と社会教育に関する説明を補足します。
4	文中に、教育基本法第3条にある生涯学習の理念や位置づけなどを挿入してはどうか。	ご意見のとおり、第1章2節に生涯学習の理念を追記します。
5	P2「自己実現」以降を「生涯学習によるまちづくりに向け、…」の表記にしてはどうか。	ご意見については、参考にさせていただきます。
6	津山市教育振興基本計画に生涯学習の施策（分野）「生涯学習環境の整備」の記載が良いのでは。	ご意見については、参考にさせていただきます。
7	第3次計画の総括をもう少し具体化すれば、第4次計画の位置づけがより明確化され、「基本目標」や「基本施策」にどのように反映（関係）されたか、解りやすいのではないかと。	津山市の生涯学習は、第3次計画で大きく進んだと考えており、その理念と方向性は今後の国や県の方向性とも合致していることから、第4次計画では新たに「つなぐ」を取り入れたうえで、津山市第5次総合計画とも関連付け、生涯学習によるまちづくりをめざしています。 アンケートにより整理した課題と方向性は、多分野に渡る課題となっており、「5つの基本施策」に活かしています。
8	「知の循環型社会」「ICT」に注釈を入れてはどうか。	「知の循環型社会」「ICT」に対して用語解説を記載します。
9	第1節「生涯学習を通じた」を「生涯学習のための」にしてはどうか。	ご意見については、参考にさせていただきます。

10	第2節「生涯学習社会の姿」を「生涯学習によるまちづくり」にしてはどうか。	ご意見のとおり「生涯学習によるまちづくり」に修正します。
11	「希望あふれるまちづくり」は、他の目標表現に比べ少し抽象的なので、例えば「行政と市民がともに創るまちづくり」とかにしてはどうか。	P13「希望あふれるまちづくり」は、5次総合計画や地方創生の動きと関連付けていることから、原文のままとさせていただきます。
12	5つの基本施策と5次総合計画の施策との関連が良く解らない。	第4次計画は、津山市第5次総合計画『1 基本理念（めざすまちの姿）「彩りあふれる花開く津山の創造」～市民一人ひとりの想いがかなう 夢と希望の花が咲き誇るまち～』及び『4 開花プログラム（まちづくりの大綱）（1）子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり』と関連付けています。
13	各節ごとの「数値目標」より「主な事業」をまとめた複数の数値目標を設定した方が、達成度が解りやすいのではないかと。また、「数値目標」の表現よりも、「活動指標」（主な事業により、得られる結果）を付けて、「（活動）指標」とした方が良いのではないかと。 さらに、今後、第4次計画を検証するため、指標（目標数値）項目数を増やしてはどうか。	ご意見については、参考にさせていただきます。
14	P18 数値目標「津山市生涯学習人材バンクの登録者数」を「・・・人材バンクを利用した人数（団体数）」にしてはどうか。	第3次計画では、津山市生涯学習人材バンクを設立し、生涯学習を支援する人や団体の登録を進めてきましたが、第4次計画では、新たに生涯学習推進に協力してくださる企業などの登録を始めるなど、引き続き人材バンクの登録拡充に重点を置いてまいります。
15	本計画の策定体系（組織）図など、策定経過（時系列）の記載がある方が良いのではないかと。	計画の末尾に第4次計画策定の経過について時系列で記載します。
16	第3章第1節「インターネットの活用や広く市民に提供する体制」（2）【主な事業】「ICTの活用等」について、これからの時代は情報化（ICT）は避けられないと考えています。 高齢化や過疎化など、物理的移動の課題は、生涯学習意欲の低下にもつながるため、生涯学習のICT化のうえでも市内の情報化インフラ整備を推進計画に盛り込んでいただきたい。	ご意見のとおり、今後、生涯学習の積極的な推進につながるよう、ICT等を活用した積極的な情報発信に努めてまいります。また、インフラ整備の必要性については、貴重なご意見として関係課に伝えます。